

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	革新的がんバイオマーカーラミニン 2 単鎖測定による高悪性度膵がん診断の実用化研究
	研究目的	本研究では金沢大学と神奈川県立がんセンターで採取された 700 例の膵がん患者血清中のラミニン 2 単鎖値を測定することで、血清ラミニン 2 単鎖が膵がんの再発・転移予測および予後予測マーカーとしての有用性を検証し、高悪性度膵がんの診断マーカーの樹立を試みる。
	研究対象者	膵臓がん患者
	研究期間	西暦 2018 年 9 月 7 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		[X] 血液            [ ] だ液            [X] 臨床検査データ [ ] 病理組織      [ ] 排泄物(尿・便) [ ] その他(記載して下さい) [ ] 毛髪            [X] 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	臨床研究所・がん生物学部 部長 越川直彦
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等  共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	臨床研究所・がん生物学部 消化器内科  金沢大学 医薬保健研究域 教授 金子周一 アボットジャパン 総合研究所 所長 吉村 徹